

近畿中国森林管理局

箕面森林環境保全ふれあいセンター・こだま通信

箕面森林環境保全ふれあいセンターでは、主に京都、大阪の都市周辺の国有林野をフィールドとして、NPO、ボランティア、地域住民等による自主的な森林づくり、里山の整備、自然再生活動、森林環境教育などへの技術指導等の支援に取り組んでいます。

プログラム作成に向け、モデル校での実践がスタート！ ～森林環境教育等検討委員会が、箕面市豊川北小学校で実践を行う～

7月18日(火)、19日(水)、箕面国有林等において、「プログラム等検討委員会(委員長:甲南大学谷口文章教授)」が、子ども向けの森林環境教育プログラム作成のため、大阪府箕面市立豊川北小学校をモデル校として、小学生85名を対象に実践を行いました。

1日目は、ヒノキ林の生態について多面から観察し、命の循環、水源涵養やCO₂ 吸収・固定機能などについて学ぶとともに、森林土壌内の微生物の観察や間伐木の玉切り・皮剥ぎ、次回に行う間伐のためのデータ収集などを行いました。子ども達は、顕微鏡で土壌中にある微生物を見て感動したり、皮をはいだヒノキを「赤ちゃんの肌みたい」と言ってはしゃいだりしていました。

2日目は、前日の振り返りのほか、デジタル紙芝居により、森林整備が温暖化防止につながるなどについて学びました。

今後、秋に実践を2回行い、それらの実施内容を含めて森林環境教育プログラムとして取りまとめていくこととしています。



クワガタが見られたかな！？～親子で参加する「森林の学校」開催



7月23日(日)、楊梅山国有林(大阪府高槻市)において、親子を対象とした森林体験学習「森林の学校」を開催しました。これは、異なった各年齢層の子ども達の参加により、森林環境教育の相乗効果が得られることを目的として、今回初めて実施したもので、親子18組を対象に、植物や昆虫観察、木工クラフト作りなどを行いました。昆虫観察では、ネフトクワガタなどが見られ、子ども達が夢中になっていました。参加した親からは「子ども自ら自発的な行動がとれるようになった。」などの感想が聞かれ、目的とする効果が得られ、実りのある「森林の学校」となりました。

現地を見ながらカワウ対策を検討 ～平成18年度第1回カワウWG会合&現地視察の実施～

7月13日(木)、カワウワーキングチームによる現地視察と平成18年度第1回の会合(滋賀森林管理署会議室)を行いました。午前中の現地視察では、現在のカワウ生息状況を見るとともに、カワウ対策の方向性を現地で確認しました。

午後の会合では、今年度実施する調査計画の確認や今後の伊崎国有林の取扱いのイメージの検討、今年度実施予定の事業の報告を行いました。

今年度中にカワウ対策を踏まえた伊崎国有林の森林管理のイメージ・方向性を固めることとして検討を進めていきます。



近畿中国森林管理局 箕面森林環境保全ふれあいセンター

TEL:075-414-9049/FAX:075-414-9029 URL:<http://www.kinki.kokuyurin.go.jp>

〒602-8054 京都市上京区西洞院通り下長者町下ル 京都農林水産総合庁舎1F



国民の森林・国有林